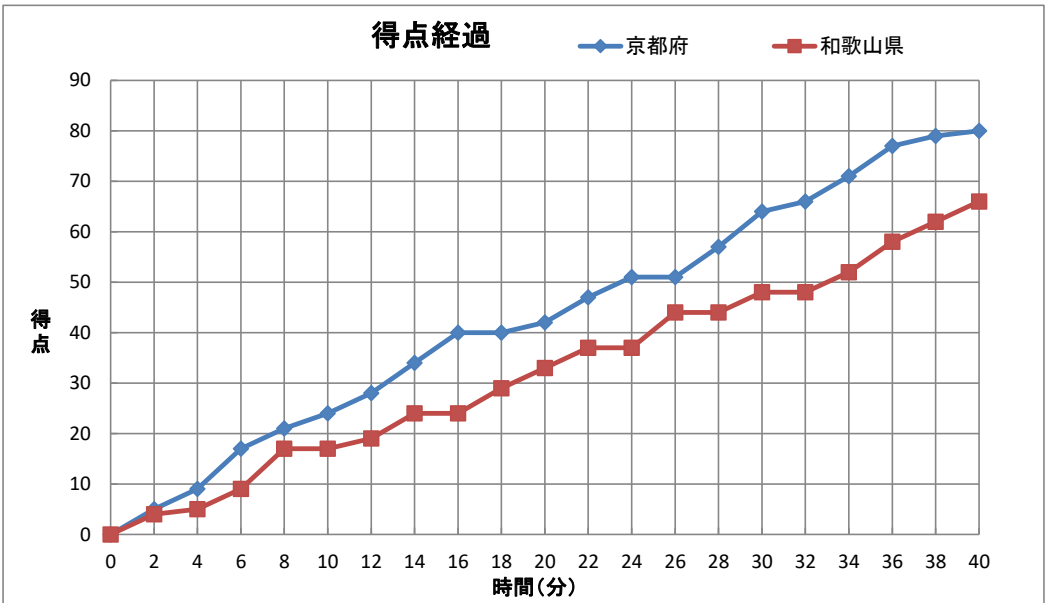


個人トータル表

成年女子		令和5年8月13日		11:40 開始													
準決勝		グリーンアリーナ神戸		D													
◎ 京都府		<table border="1"> <tr><td>24</td><td>1st</td><td>17</td></tr> <tr><td>18</td><td>2nd</td><td>16</td></tr> <tr><td>22</td><td>3rd</td><td>15</td></tr> <tr><td>16</td><td>4th</td><td>18</td></tr> </table>		24	1st	17	18	2nd	16	22	3rd	15	16	4th	18	66 和歌山県	
24	1st	17															
18	2nd	16															
22	3rd	15															
16	4th	18															
80					66	和歌山県											
番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則	番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則				
4	米長 里紗	1	0	0	1	0	* 5	一万田 琴音	8	0	4	0	0				
* 5	関 瑞葵	9	1	2	2	0	* 6	大吉 まな	4	0	0	4	3				
6	松尾 祥花	0	0	0	0	0	* 7	中村 有希	0	0	0	0	3				
7	吉村 朋子	0	0	0	0	0	8	前田 実咲	9	3	0	0	2				
* 8	荻田 美	10	3	0	1	1	9	清本 優菜	11	1	3	2	3				
9	安田 茉耶	2	0	0	2	2	10	千葉 暁絵	0	0	0	0	0				
10	望月 莉七	2	0	1	0	1	11	山本 静花	4	0	2	0	3				
11	片山 瞳	2	0	1	0	1	* 12	小野 佑紀	8	2	0	2	3				
* 12	堀内 桜花	6	0	2	2	1	* 13	大城 椎菜	20	0	8	4	0				
* 13	八木 悠香	12	0	6	0	3	15	水谷 優月	2	0	0	2	2				
14	川地 汐夏	0	0	0	0	0			-	-	-	-	-				
* 15	ディマロジュシカワリエビモエレ	36	0	18	0	2			-	-	-	-	-				
		-	-	-	-	-			-	-	-	-	-				
		-	-	-	-	-			-	-	-	-	-				
		-	-	-	-	-			-	-	-	-	-				
コーチ	渡邊 直裕						コーチ	永田 睦子									
Aコーチ							Aコーチ										
合計		80	4	30	8	11	合計		66	6	17	14	19				
クルーチーフ: 小松 綾実																	
1stアンパイア: 太田 令菜							2stアンパイア: 花谷 慎子										



TO	1・2Q	3・4Q			OT1	OT2	OT3	OT4
TeamA	16:57	:	24:40	:	:	:	:	:
TeamB	15:06	:	:	:	:	:	:	:

〔戦評〕

【第1Q】京都、和歌山ともにハーフコートディフェンスからスタート。まずは和歌山がドライブから#13大城のゴール下シュートにつなげて先制。その後フリースローも着実に決めリードを広げるが、京都も#5関の3Pが決まる。京都はアウトサイドシュートが入らないが、#13八木、#15ディマロがリバウンドをとり、リング下のシュートを決める。また京都は#5関のパスから#8荻田が3Pのバスケットカウントをもらい、フリースローも決め、4点プレイを決める。その後、和歌山は#12小野の3P、#13大城のバスケットカウントで追いつけるも、24-17で京都がリードで1Qを終える。

【第2Q】和歌山が#11山本の速攻のレイアップを決めるも京都は#15ディマロのポストプレーから#12堀内がシュートを決めると、#15ディマロのリング下やバスケットカウント等で得点を重ね、リードを広げる。和歌山も#8前田の3P、#13大城のリング下でのフックシュートで追いつけるも、このクォーターも京都がリードを広げ、42-33で前半を終える。

【第3Q】京都は#8荻田の3Pで幸先よくスタート。和歌山は#9清本、#5一万田のミドルシュートで点差を縮めるも、京都の#13八木から#15ディマロへのインサイドの合わせのプレイを防げず、リードを広げられる。和歌山はディフェンスを強め、#12小野がオフェンスチャージを誘発する。その後和歌山は#8前田の3Pで追いつけるが、京都は選手交代直後の#10望月がシュートを決め、64-48と京都がリードを広げる。

【第4Q】京都は#13八木のリング下シュート、#8荻田の3Pでリードを広げる。和歌山は#13大城のフックシュート、#12小野、#9前田の連続3Pで追いつける。ディフェンスでもターンオーバーを誘い、#5一万田のシュートへつなげるも、京都#4米長のフリースローが決まるなど、京都がリードを守り、80-66で決勝へとコマを進めた。最後までディフェンスの強度を落とさず、あきらめない姿勢を見せた和歌山にも賛辞を贈りたい。

戦評: 殿元 淳也 記録: 県立西宮高校